

今週（5月22日から5月26日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が概ね340兆円台後半で推移する中、週を通して落ち着いた地合いで推移した。

無担保コールO/N物は総じて調達意欲が弱く、週後半にかけて無担保コールO/N加重平均レートは徐々に低下し、▲0.05%台前半から半ばと弱めの地合いで推移した。23日は一部の業態が試し取りを実施したことで、加重平均レートは▲0.037%と上昇した。ターム物に関しては、ショートターム物で▲0.04～▲0.03%近辺での出会いが散見された。

固定金利方式の共通担保資金供給オペに関しては、25日に2W物8,000億円がオファーされ、応札額2,680億円(期落ち分2,601億円)の札割れとなった。また、24日には訓練目的の共通担保資金供給オペが実施された。

●レポ市場

今週のGC O/N物は▲0.085～▲0.06%程度の水準で推移した。22日のS/N (5/24-5/25)、23日のS/N (5/25-5/26)、24日のS/N (5/26-5/29)は▲0.085～▲0.075%での出会い。25日のS/N (5/29-5/30)は短国3Mの発行要因から業者のファンディングニーズによるオファーが増加し、▲0.06%程度とレートを一段切り上げての出会い。26日のS/N (5/30-5/31)は短国買入オペが通知されたことから、▲0.07%程度と若干目線を下げたの出会いとなった。

SC個別銘柄では5Y126～131、10Y336～346、20Y160、30Y50～54等カレント近辺にビッドの出入りが多く見られていた。

●短国市場

今週の短国市場は、日銀の短国買入残高が継続的に減少傾向となっている中、先週に引き続き動意に乏しい閑散なマーケットとなった。レート水準は概ね▲0.13～▲0.11%と、政策金利近辺で推移した。TB1Y (683回) はオペ期待からか、▲0.165～▲0.15%程度で推移した。

25日には3M物の入札が実施された。WI取引で▲0.12～▲0.1175%での出会いが見られる中、入札結果は平均落札利回▲0.1206%、按分落札利回▲0.1182%と、順調な結果となった。その後のセカンダリーでは▲0.130～▲0.125%と、小じっかりで推移した。

26日に事前予想通りの5,000億円で実施された短国買入オペは、平均落札利回較差+0.001%、按分落札利回較差0.000% (按分比率52.0%) と、比較的落ち着いた結果となった。

5月中の短国買入オペの合計オファー額は3兆5,000億円となったことで、5月末の日銀の短国買入残高は29兆5,917億円となることが見込まれ、4月末に日本銀行が示した29～31兆円程度の残高見込み内に収まった。

●CP市場

今週のCP市場は、週間償還・発行総額共に4,500億円程度と、ほぼ同程度となった。輸送用機器・鉄鋼・小売・商社等の業態から大型の発行案件が見られたものの、投資家の運用ニーズは根強く、前週に引き続き落ち着いたマーケットとなった。発行レートについては、0%から僅かなマイナスレートでの取引が多く見られ、ディーラーの強い買いが入った銘柄では、水準が若干切り下がる決着も見られた。

26日はCP等買入オペが、オファー額2,500億円で実施された。平均落札レート▲0.008%、按分落札レート▲0.01%と、前回 (平均0.005%、按分▲0.01%) に比べ、平均は低下、按分は横ばいの結果となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/22 (月)	19,678.28	0.045	111.48	△ 0.051	△ 0.078	3,470,300
5/23 (火)	19,613.28	0.040	111.08	△ 0.037	△ 0.080	3,486,300
5/24 (水)	19,742.98	0.045	111.80	△ 0.054	△ 0.081	3,490,500
5/25 (木)	19,813.13	0.045	111.64	△ 0.055	△ 0.065	3,486,000
5/26 (金)	19,686.84	0.035	111.56	△ 0.055	△ 0.061	3,506,800

来週（5月29日から6月2日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/29 (月)					New York祝日(Memorial Day) London祝日(Spring Bank Holiday)
5/30 (火)	4月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 4月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 4月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 4月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 22,000億円 6/15発行			3月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 4月の米個人所得・消費支出 5月の米CB消費者信頼感指数
5/31 (水)	4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 4月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	交付税借入 10,500億円 6/9借入			米ページブック 5月のシカゴPM景況感指数 5月のユーロ圏消費者物価指数速報値
6/1 (木)	岐阜県金融経済懇談会にて原田審議委員講演 1-3月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	TB3M 44,000億円 6/5発行	10Y 23,000億円 6/20発行		4月の米建設支出 5月のISM 製造業景況指数
6/2 (金)	5月のマネタリーベース(日銀 8:50) 5月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				4月の米貿易収支 5月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/29 (月)	600	▲ 8,300	▲ 7,700	全店共通 CP買入 社債買入 ETF買入 国債補充	▲ 2,600 ▲ 500 ▲ 100 200	2,700 400	100	▲ 7,600	TB3M発行▲44000償還44200 40Y発行▲5000
5/30 (火)	1,000	2,000	3,000	国債買入 短国買入		7,500 5,000	12,500	15,500	
5/31 (水)	300	3,400	3,700	CP買入		2,500	2,500	6,200	
6/1 (木)	0	▲ 18,000	▲ 18,000				0	▲ 18,000	機関貸付回収 税揚げ前倒し
6/2 (金)	0	▲ 35,000	▲ 35,000	成長基盤	▲ 800		▲ 800	▲ 35,800	交付税借入▲10500期日10500 普通交付税 年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ
週間合計	1,900	▲ 55,900	▲ 54,000	—	▲ 3,800	18,100	14,300	▲ 39,700	

5/29は日銀予想、5/30以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、月末の31日は一部に調達を控える先がいることから、無担保コールO/N加重平均レートは低下することが予想される。週末に掛けては不足日となることが予想され、積み期間も中盤に差し掛かることから、加重平均レートは徐々に上昇に転じる可能性も考えられる。

短国市場は、1日に3M物の入札が予定されている。短国買入オペが減少する中、積極的な買い手も見られないことから、落札レートは横ばいか小幅上昇となることが予想される。

CP市場は月末発行を含む週となる。6月の賞与などを控え、発行残高が大幅に増加することが期待される。

主要なイベントとしては、31日のページブック、2日の米国雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入